

平成21年度研究授業指導案(本時案)

教科	理科	科目	環境と科学	指導者	松重 光治
日時	平成21年10月29日(木曜) 第5限		学年	第3学年ライフデザイン科	教室 化学教室
使用教科書(出版社)	地域からつくるあしたの地球環境(実教出版)		補助教材	自作プリント	
本時のテーマ	「進行する水汚染」				
主眼・ねらい	<p>地球上で利用可能な水の量が限られていることを理解する。 豊かな生活と共に必要とされる水の量が増加していること、また豊かな生活により水の汚染も地球的規模で進んでいる実態について考える。 水の安全性に関心を持ち、また水を汚染しない生活スタイルについて理解を深め、日常生活中で水を大切に使用しようとする気持ちを養う。</p>				
段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	
導入	5分	(1)前時の復習	前時までの環境汚染について確認する。	生徒に質問しながら、生徒の理解を助ける。	
展開	40分	(1)地球上の水がかぎりあることを理解する。	<p>太陽系における惑星をプリントに記入する。</p> <p>地球が水の惑星であること等についてプリントに記入する。</p> <p>地球の水に関する質問に答える。 地球上に存在するさまざまな形態の水の割合をプリントに記入する。</p> <p><グループ討議> 「水の利用について話し合いを行い、グループの意見をまとめる。」</p>	<p>太陽系を描いたイラストを黒板に掲示する。</p> <p>月から見た地球の姿を描いた絵を掲示する。</p> <p>本「宇宙からの帰還」の紹介 さまざまな形態の水の割合を描いた模式図を掲示する。</p> <p>3分間、話し合いを行わせ、意見を発表させる。</p>	
		(2)水汚染による被害の実態と歴史について理解する。	<p>水俣病の発生の原因と歴史等について、プリントに記入する。</p> <p>水の汚染に関する質問に答える。</p> <p><グループ討議> 「水俣病が認定されるまでの期間の長さについて話し合いを行い、グループの意見を発表する。」</p> <p>戦後日本の四大公害病について、表にまとめる。</p>	<p>水俣病の解決に取り組んだ人々の著書を紹介する。</p> <p>水の汚染に関する質問をする 中国における水汚染の事情について触れる。</p> <p>3分間、話し合いを行わせ、いくつかの班に意見を発表させる。</p> <p>公害病の歴史に触れる。 水俣病に関する本の紹介</p>	
		(3)水俣市の公害解決への取組を学ぶ。	水俣市の取組についてプリントに記入する。	宇部市の大気汚染の取組について、前時の内容を思い出させる。	
		(4)飲み水の安全性について理解する。	<p>飲み水の安全についてプリントに記入する。</p> <p>熊毛地区、周南市、光市の上水道の水源について、まとめる。</p> <p><グループ討議> 「河川の水を汚さないために、できることについて話し合い、意見を発表する。」</p>	<p>熊毛地区などの水源の安全性について考えさせる。</p> <p>3分間、話し合いを行わせ、意見を発表させる。</p>	
まとめ	5分	(1)本時のまとめ (2)次回の予告	<p>水に関する感想をプリントに書く。</p> <p>次回の授業内容について確認する。</p>	次回の授業内容について、予告する。	